

平成 28 年 1 月 27 日	<b>病虫害発生予報</b> <b>2 月号</b>	茨城県病虫害防除所 茨城県植物防疫協会
---------------------	-------------------------------	------------------------

**農薬を飲料の空容器等に移し替えるのはやめましょう！！**  
**～ 移し替えによる誤飲事故が多い状況です～**

<b>I. 今月の予報</b>	
<b>【注意すべき病虫害】</b>	
イチゴ：ハダニ類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
促成ピーマン：うどんこ病・・・・・・・・・・・・・・・・	1
促成ピーマン：斑点病・・・・・・・・・・・・・・・・	2
促成トマト：灰色かび病・・・・・・・・・・・・・・・・	2
<b>【その他の病虫害】</b>	
イチゴ，促成ピーマン，促成キュウリ・・・・・・・・	3
<b>【防除所レポート】</b>	
病虫害防除所ホームページ「病虫害資料室」の紹介・・・・・・・・	4
<b>II. 今月の気象予報</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	
<p>最新の農薬登録内容は，（独）農林水産消費安全技術センターホームページの「農薬登録情報提供システム」（<a href="http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm">http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm</a>）で確認することができます。</p>	
<p style="text-align: center;">詳しくは，病虫害防除所へお問い合わせください。 茨城県病虫害防除所    Tel：029-227-2445 予報内容は，ホームページでも詳しくご覧いただけます。 ホームページアドレス <a href="http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/byobo/bojo/">http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/byobo/bojo/</a></p>	

## I. 今月の予報

### 【注意すべき病害虫】

#### イチゴ

#### 1. ハダニ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	平年並～やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 1月下旬現在、寄生葉率(本年値 17.8%, 過去7年平均値 15.6%), 被害葉率(本年値 9.0%, 平年値 13.2%)ともに平年並である。
- ② 気象予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

- ① ハダニ類は増殖が速いので、発生が少ないうちに防除を徹底する。
- ② 薬剤は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で丁寧に散布する。また、気門封鎖剤以外については、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、IRAC コードもしくは系統の異なる薬剤を用いてローテーション散布する。なお、薬剤散布は、古い下葉を除去してから行うと効果的である。
- ③ ミツバチや天敵を導入している場合は、薬剤の影響日数等に十分注意する。

#### 促成ピーマン

#### 1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	やや多い	鹿行地域

[予報の根拠]

- ① 1月下旬現在、発病度<sup>\*</sup>は平年よりやや高く(本年値 10.8, 平年値 4.4), 発生地点率は平年より高い(本年値 100%, 平年値 52%)。  
※発病度: 病斑をもとに算出した数値, 最小値は0で最大値は100となる。

[防除上注意すべき事項]

- ① 発生が多くなると防除が困難になるため、初期防除を徹底する。
- ② 罹病部はできるだけ取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。
- ③ 薬剤は、薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に散布する。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、FRAC コードもしくは系統の異なる薬剤をローテーション散布する。
- ④ 天敵を導入している場合は、影響が少ない薬剤を選択する。

(促成ピーマン 続き)

## 2. 斑点病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	やや多い	鹿行地域

[予報の根拠]

- ① 1月下旬現在、発病度\* (本年値 6.8, 平年値 2.8), 発生地点率 (本年値 75%, 平年値 51%) ともに平年よりやや高い。ただし発病度は圃場による差が大きい。

※発病度：病斑をもとに算出した数値，最小値は0で最大値は100となる。

[防除上注意すべき事項]

- ① 多湿の場合に発生しやすいので，整枝，換気等によりハウス内の湿度を低く保つ。
- ② 発生が多くなると防除が困難になるため，初期防除を徹底する。
- ③ 罹病部はできるだけ取り除き，ハウス外に持ち出して適切に処分する。
- ④ 薬剤は，薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に散布する。また，薬剤耐性菌の出現を防ぐため，FRAC コードもしくは系統の異なる薬剤をローテーション散布する。
- ⑤ 天敵を導入している場合は，影響が少ない薬剤を選択する。

## 促成トマト

### 1. 灰色かび病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
—	やや多い～多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 1月下旬現在，発病株率は平年よりやや高く (本年値 1.8%, 平年値 0.5%), 発生地点率は平年より高い (本年値 33%, 平年値 7%)。
- ② 気象予報によると，向こう 1 か月の気温は平年より高く，日照時間は平年より少ないと予想され，発生を助長する条件である。

[防除上注意すべき事項]

- ① 多湿の場合に発生しやすいので，暖房，送風，換気等によりハウス内の湿度を低く保つ。
- ② 罹病部はできるだけ取り除き，ハウス外に持ち出して適切に処分する。
- ③ 薬剤は，薬液が葉裏にもよくかかるよう十分な量で丁寧に散布する。また，薬剤耐性菌の出現を防ぐため，FRAC コードもしくは系統の異なる薬剤を用いてローテーション散布する。
- ④ 薬剤散布は，晴れた日の午前中に行う。また，曇雨天が続き薬液が乾きにくい場合は，くん煙剤を利用する。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予測	発生概況及び注意すべき事項
イチゴ	うどんこ病	発生量：平年並	1月下旬現在，平年並の発生である。
促成ピーマン	アザミウマ類	発生量：平年並 ～やや多い	1月下旬現在，平年並～やや多い発生である。
促成キュウリ	うどんこ病	発生量：平年並	1月下旬現在，平年並の発生である。
	べと病		
	アザミウマ類		

## 病虫害防除所ホームページ「病虫害資料室」の紹介

病虫害防除所ホームページ(<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/byobo/bojo/index.html>)では、発生予察情報（予報，注意報等）や農薬関連情報の他、「病虫害資料室」も随時更新しています。

病虫害資料室では、主要な農作物に発生する病虫害（表）について、本県における発生生態や被害、防除方法を掲載しています。被害等の写真も掲載していますので、病虫害診断の際にご活用ください。今後も内容をさらに充実する予定ですので、ご要望をお知らせください。なお、写真等の資料への転載を希望する場合は、本所までご連絡ください。

表 病虫害資料室に掲載している病虫害（平成28年1月現在）

作物	水稻	いもち病，黄化萎縮病，縞葉枯病，紋枯病，イネミズゾウムシ，斑点米カメムシ，イネクロカメムシ，イネツトムシ，ニカメイガ，ヒメトビウンカ，イネゾウムシ，イネドロオイムシ，スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）
	麦類	赤かび病，赤さび病（小麦），縞萎縮病・萎縮病，黒節病，うどんこ病，裸黒穂病，なまぐさ黒穂病（小麦），アブラムシ類
	大豆	紫斑病，べと病，葉焼病，莖疫病，ツメクサガ，ダイズサヤムシガ，ダイズシストセンチュウ，ダイズサヤタマバエ，シロイチモジマダラメイガ
	サツマイモ	黒斑病，立枯病，帯状粗皮病，紫紋羽病，ナカジロシタバ，イモキバガ（イモコガ），アワダチソウグンバイ，ネコブセンチュウ類
野菜類	イチゴ	うどんこ病，萎黄病，炭疽病，ハダニ類，アザミウマ類
	キュウリ	褐斑病，べと病，黄化えそ病，退緑黄化病，コナジラミ類，アザミウマ類
	トマト	疫病，葉かび病，黄化葉巻病，すすかび病，コナジラミ類
	ネギ	さび病，べと病，黒斑病，ネギアザミウマ，ネギハモグリバエ
	ハクサイ	黒腐病，軟腐病，根こぶ病，白斑病，べと病，コナガ，ハイマダラノメイガ
	ピーマン	斑点病，退緑斑紋病，うどんこ病，アザミウマ類
	メロン	つる割病，つる枯病，えそ斑点病，退緑黄化病
	レタス	腐敗病，菌核病
	共通害虫	コナガ，ハイマダラノメイガ，ハスモンヨトウ，オオタバコガ，灰色かび病，コナジラミ類，アザミウマ類，タバコノミハムシ
果樹	ナシ	黒星病，輪紋病，炭疽病，うどんこ病，アブラムシ類，コナカイガラムシ類，チャノキイロアザミウマ，ニセナシサビダニ，ナシヒメシンクイ，ハダニ類，ハマキムシ類，ヒメボクトウ
	ブドウ	晩腐病，べと病，褐斑病，黒とう病，さび病，チャノキイロアザミウマ
	リンゴ	褐斑病，黒点病
	カキ	炭疽病，落葉病
	クリ	モモノゴマダラノメイガ
	果樹共通	カメムシ類

## II. 今月の気象予報

### 関東甲信地方 1 か月予報

(予報期間 1月23日から2月22日)

気象庁 (1月21日 発表)

<向こう 1 か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率 (%) >

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	10	40	50
降水量	関東甲信全域	20	30	50
日照時間	関東甲信全域	50	30	20

[概要]

平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

<1週目の予報> 1月23日(土曜日)から1月29日(金曜日)

気温 平年並の確率 50%

<2週目の予報> 1月30日(土曜日)から2月5日(金曜日)

気温 高い確率 60%

<3週目から4週目の予報> 2月6日(土曜日)から2月19日(金曜日)

気温 平年並または高い確率 40%

### 農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬の「ラベル」と登録変更に関する「チラシ」等を必ず確認し、適用作物、使用方法、注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には、周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 薬剤抵抗性の発達を抑えるため、異なる作用機構分類\* (FRACコード, IRACコード)の薬剤を用いてローテーション散布しましょう。

※作用機構分類については、病害虫発生予報5月号(平成27年4月28日発表)の防除所レポート参照